



# 協体あさふ

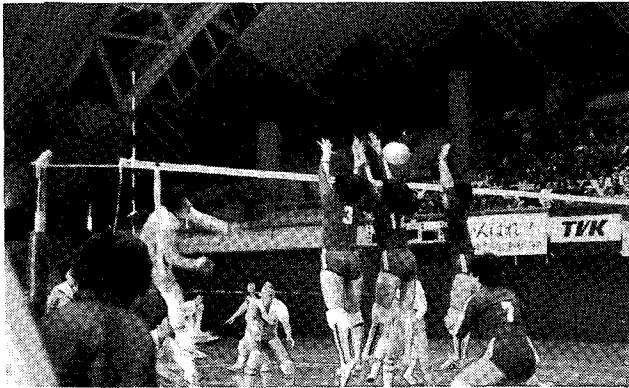
「藤沢市体育協会広報」第 3 号

発行日 昭和61年8月20日  
発行・編集 藤沢市体育協会  
〒252 藤沢市遠藤3172秋葉台文化体育館内

## 市民のニーズに応える体協に!!

藤沢市体育協会理事長 関根智治

健康は自分自身に贈る最高のプレゼントであり、それは自分自身で創り出すものであります。国民の文化的生活による身体活動の低下と増大する余暇利用から、健康で豊かな生活樹立のために市民のスポーツ欲求は年々高まりつつあります。



わが国における体育・スポーツは長年にわたって学校体育で培われ、その活動も学校体育が中心でありました。しかし、近年は前述の理由から、学校体育とは離れて各職域で、同好のクラブで、或いは公営や民間のスポーツ施設を通してなど日常生活の中に各種のスポーツが採り入れられるようになりました。種目も驚くほど増加し、対象も年齢や性別を問わず幼児から高齢者まで多くの人々が中広く活動するようになりました。

先般実施の経済企画庁の調査でも「スポーツなど余暇を楽しむ能力を身につけている人は、仕事や家庭も含めた生活全体に対する満足度も高い。」と言う結果が出ている通り日常生活におけるスポーツ活動 生涯スポーツがいかに大切であるかを物語っております。

私たちは、このような市民のスポーツ欲求に応えるべく体協のあり方を考え、すばらしい活動を実践しなければなりません。

昭和21年 市民スポーツの普及と種目協会相互の連携と親睦を図る目

的で創設された藤沢市体育連盟が発展的解消をとり、昨年度から組織と活動内容を一新して藤沢市体育協会が発足いたしました。市民に密着した活動を展開するため市民スポーツの普及に積極的に取り組んでおります。先づ、既存の各種目協会ごとに、すべての市民が自由に、いつでも気軽に参加できるスポーツ環境の設定、適切な指導、練習ができる受入れ体制の確立、各種大会の開催等による市民の容易な参加に努めています。現在協会のない種目については市民が活動しやすい手だてを講じ協会設立への援助も考えております。

次に競技人口の増加と併せ競技力の向上にも力を注ぎ、県総合体育大会をはじめ県下の各種大会における上位入賞。県外、国外とのスポーツ交流による友好親善と競技力の向上にも積極的に取り組むたいと思っています。

また、本体協独自の事業推進のため賛助会員制度等による財源確保で多様化する市民のスポーツ欲求を主体的に進めたいと思います。体協ニュースの刊行、新ルールの講習会や指導者の派遣、職場や地域におけるスポーツ事業の協力等……。行政とタイアップしてのスポーツ活動の振興など市民のニーズに応える体協にしたいと存じます。

# 種目協会の横顔

## 藤沢市サッカー協会

カラフルなユニホームが炎天下のグラウンドを右に左に走る、背番号が汗に黒く汚れ熱戦に苦闘が選手の緊張感が持続できるか。台風の中、泥海のグラウンドでボールが転がる、真黒な顔に背番号が見えない。これが格闘技サッカーです。かつては、蹴球といった時代もあり、いまでは、近代スポーツとして世界のスポーツになっています。

藤沢では、比較的古くからサッカーの歴史があります。それは、湘南中学(旧制)を中心として輪がひろがり、県内でも早くからサッカーが親しまれていました。

この藤沢に、サッカー協会(当時は蹴球協会)が創立されたのは、昭和二八年四月、会長松川昇太郎で、同時に市体育連盟に加盟しました。以下、協会のおもな「あゆみ」を記してみます。

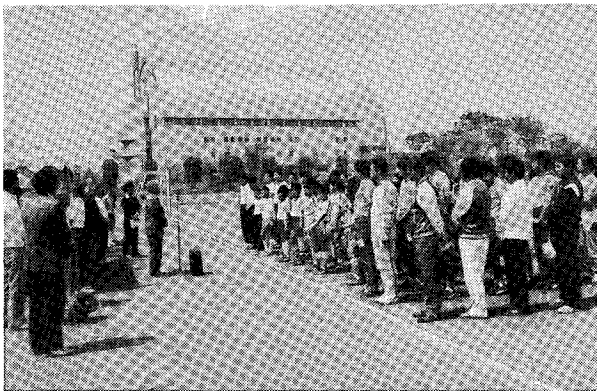
- 昭和三〇年七月 本協会初の事業、第一〇回藤沢市民総体サッカー競技を開催。
- 昭和三〇年十一月 第一〇回国民体育大会サッカー競技運営に本協会が当たる。
- 昭和三八年四月 役員改選、会長山口倉吉、理事長関根智治。以降、各種大会を開催。
- 昭和四三年九月 藤沢市少年サッカーリーグ開始。
- 昭和四四年四月 藤沢サッカー友の会創立。会長に番場定孝選任。
- 昭和四七年四月 日・韓国際親善少年サッカー大会を開催。韓国ソウル特別市に少年団派遣。本年度で十一回を数える。
- 昭和四九年一月 藤沢市サッカー協会創立二〇周年記念祝賀会。市民会館で開催。
- 昭和五〇年八月 藤沢小・明治中学・相工大附高・藤沢市役所が、それぞれ全国大会に出場。藤沢のサッカーが全国に知られる。その後、各種別で県大会、全国大会で活躍する。
- 昭和五五年七月 第五回「さわやか杯」神奈川県選抜少年サッカー大会で、藤沢選抜が五連覇を果たし、「さわやか杯」を永久保持。
- 昭和五八年一二月 藤沢市サッカー協会創立三〇周年記念祝賀会を市民会館大ホールで

開催。功労者表彰五一名、貢献者表彰三氏一六団体、チーム表彰二二チーム。サッカー映画を上映。

○ 昭和六一年六月 山口倉吉会長、死去。本協会として大きな痛手を負う。

以上は協会の歴史のあらましですが、創立当時の登録数をみれば今日のサッカー熱の盛んなことには感激しています。これも市民スポーツとしてのサッカーが認められてきたことと考えます。

日韓親善サッカーをはじめ、藤沢・松本の定期交歓大会、町田、清水などとの定期戦、そして、藤沢招待



少年サッカー大会を通しての県内外チームとの交流を深め、あわせ技術の修得に努めてきました。

昭和四〇年代は、協会役員が手弁当で各小・中学校でのサッカー教室を開き技術指導にあたってきました。

底辺拡大を大きな目的とし、また市当局のご協力を得て普及にいたしました。サッカーに親しみたいという市民のために「サッカー友の会」の組織づくりもしました。

協会組織としては、会長―副会長―理事長―副理事長―常任理事―理事のメンバーで構成し、少年、中学、高校、一般、審判の各部会で事業計画を立案し実施しています。

協会運営資金は、各チームの登録料、大会参加料、市の補助金等により運用しています。

今年度チーム登録数は、少年一二〇、中学一八、高校一二、一般五六チームとなっています。

最近の明るい話題としては、各部会での県代表などにあわせ、全日本代表、ユース代表、大学リーグ、日本リーグなどで藤沢の選手が活躍していることです。

協会の重点目標である技術の向上、審判の資質の向上をめざし、さらに小・中・高・一般と一貫した技術指導に努力するつもりです。

「サッカーのまち藤沢」をさらに充実させ、故山口会長の意にむくいるために頑張りたいと考えます。

## 昭和60年度 藤沢市体育協会事業実績報告書

月 日	事 業 名	月 日	事 業 名
60. 4. 16	第1回理事会	61. 1. 28	体育協会表彰規程に基づく選考委員会(常任理事会)
23	第1回評議員会	2. 26	第4回理事会
5. 1	第1回常任理事会	3. 8	昭和60年度スポーツ人の集い及び藤沢スポーツ賞授与式
14	第1回藤沢市バレーボール実業団一般男女選手権大会		田辺政吉 関水正文 青木恵子選手 河合雅世選手
29	第2回常任理事会	3. 31	広報紙第2号発行
6. 12	藤沢市スポーツ振興振議委員会員の推せん(会長・理事長の推せん)		第40回藤沢市民総合体育大会 総参加者数 9,980人 。地区対抗競技参加者数 3,079人 オープン競技参加者数 6,901人 総合部優勝 湘南台地区 2位 藤沢地区 3位 滝の沢地区
7. 1	広報紙PR版発行(2,000部)		第36回神奈川県総合体育大会 。一般の部 青年の部
12	第2回理事会		夏季大会 ソフトボール 軟式庭球 水泳
15	事務局臨時職員の採用		秋季大会 陸上 卓球 バasketボール 剣道 柔道
7.	賛助会員の募集開始		バレーボール バドミントン サッカー
8.	各競技協会への補助金交付		冬季大会 スキー
9. 1	藤沢市体力づくり運動推進功労者表彰 瀬戸 満里子(バレー) 由井 大(剣道) 糸井 勝治(柔道) 木村 克子(軟庭)		藤沢の体育の歩み資料収集事業 市保有、体育協会文書、神奈川県体育史から市内の体育、スポーツ・レクリエーション関係の資料を整理し年代別の分析を行った。 (敬称略)
10. 1	藤沢市表彰条例に基づく表彰 伊東 満(軟庭) 山口 昭一(サッカー) 小林 俊輔(スキー)		
16	第3回常任理事会		
11. 3	藤沢市教育文化貢献者感謝会 加藤 賢治(サッカー) 井上 馨(弓道) 宮本 隆(柔道) 広瀬 稔(空手) 橋本 幸俊(陸上競技)		
12. 12	第3回理事会		

## 昭和60年度 藤沢市体育協会収支決算報告書

### 1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増 減	附 記
体 協 費	10,880,000	1,245,000	12,125,000	12,146,396	21,396	留体 62件 備入 181件
体 協 費	10,880,000	1,245,000	12,125,000	12,146,396	21,396	
補 助 金	2,580,000	0	2,580,000	2,580,000	0	
委 託 料	7,444,000	0	7,444,000	7,444,000	0	
賛 助 会 費	400,000	763,000	1,163,000	1,163,000	0	
負 担 金	289,000	0	289,000	275,700	△ 13,300	
繰 越 金	165,130	0	165,130	165,130	0	
雑 収 入	1,870	482,000	483,870	518,566	34,696	

### 2. 支出の部

項 目	予算額	補正・流用	予算現額	執行済額	増 減	附 記
体 協 費	10,880,000	1,245,000	12,125,000	12,033,258	91,742	
運 営 費	10,880,000	1,245,000	12,125,000	12,033,258	91,742	
事 務 局 費	1,047,000	23,000	1,070,000	1,064,635	5,365	
事 業 費	9,766,000	482,000	10,248,000	10,168,623	79,377	
積 立 金	50,000	750,000	800,000	800,000	0	
予 備 費	17,000	△ 10,000	7,000	0	7,000	

1. 収入の部	予 算 額	10,880,000 円	決 算 額	12,146,396 円
2. 支出の部		10,880,000 円		12,033,258 円
3. 差引額			差引残額	113,138 円

### 昭和61年度 藤沢市体育協会事業計画書

4月	市民総体打合せ		10月	市民総体 空手	
5月	理事会 評議員会			女子ソフトボール大会 (地区対抗)	26
	市民総体予選 ソフトボール	18~6/1		藤沢市表彰条例に基づく表彰	
	賛助会員募集			市青少年育成活動推進功労者表彰	
	先進都市体育協会視察			各地区体育レクリエーション大会	10
6月	常任理事会			国民体育大会	12~17
	市民総体予選 野球	22~7/6	11月	藤沢市教育文化貢献者感謝会	
	広報発行			常任理事会	
7月	市民総体 バスケットボール	13・20		広報発行	
	弓道	20	12月	理事会	
				指導者研修会	
8月	市民総体 山岳	2・3	52年	市民総体 スキー	
	バドミントン	31~9/7	1月	常任理事会	
	テニス	17~9/14		スポーツ人の集い	24
	サッカー	17~9/14		創立40周年記念事業	24
	バレーボール	24~9/7	2月	県総合体育大会冬期大会	
	剣道	31		(スキー 下旬)	
	県総合体育大会			理事会	
	ソフトボール	10・17	3月	市民スポーツフェスティバル	8
	軟式庭球	17		広報発行	
	水泳・射撃	24		常任理事会	
	各競技協会補助金交付				
9月	市民総体	7			
	陸上、卓球、軟庭、野球、柔道、バレーボール、ラクビー、バドミントン、ソフトボール				
	国民体育大会夏夏大会	7~10			
	県総合体育大会予選及び本大会	21~28			
	市民体力づくり運動推進功労者表彰				
	常任理事会				

上記のように事業を計画いたしました。昨年度にも増して各位の暖かい御協力を戴き藤沢市体育協会が更に大きく飛躍し、発展出来ますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 昭和61年度 藤沢市体育協会収支予算書

#### 1. 収入の部

項目	予算額
体協費	10,440,000
体協費	10,440,000
補助金	2,780,000
委託料	6,244,000
賛助会費	1,000,000
負担金	288,000
繰越金	113,138
雑収入	14,862

#### 2. 支出の部

項目	予算額
体協費	10,440,000
運営費	10,440,000
事務局費	1,068,000
事業費	8,968,000
積立金	400,000
予備費	4,000

(単位 円)

#### 賛助会員入会のお願ひ

昨年度は本体協賛助会員制度の趣旨をご理解いただき、多くの皆様方にご入会いただき誠にありがとうございます。昭和61年度も別紙ご案内により入会手続きをいたしております。一人でも多くの方々にご賛同いただき、昨年度同様多数皆様が入会くださいますようお願い申し上げます。尚、詳細につきましては、藤沢市遠藤三二七二 秋葉台文化体育館内 藤沢市体育協会 88-1-1-1までご照会ください。

#### 賛助会員ご芳名について

事務局よりおわびと訂正  
前号掲載の昭和60年度賛助会員御芳名に一部誤りがございました。深くおわび申し上げますと共に紙面をおかりし謹んで訂正申し上げます。

(前号記載もれ)

榊居 祐三

(敬称略)

(前号誤記載)

(正) 橋本 幸俊 (誤) 橋本 素俊

関水 和康 関水 利康

岩崎 只子 岩崎 兄子

温井 一光 温井 一光

金子 嗣 金子 開

信明館高料道場 単明館高料道場

長澤 良広 辰澤 良広

以上